

## 一般質問

立 鈴  
議 員

## 質問

一、新婚者や若者を入居対象とした公営住宅を中山間地域に建設するところが、子育てには重要かつ最適である。のどかな四季折々の風景、澄んだ空気の中での子育ては、感受性や豊かな情操を育み、子どもにとって最適な育児環境である。また、そのことが保育園児の減少を食い止め、小学校の統廃合を防ぐことにもなる。人口の一部集中を均等化する効果も生じる。入居に際しては、魅力ある優遇措置を講ずることで、入居希望者は増加すると確信する。保育園児は年々増え、小学生徒も増加し、中山間地域の活性化に多大な貢献をすることとなる。市の考えを伺いたい。

二、原子力発電所30キロメートル圏内の基幹道路については、政府において最重要整備事項とする動きがある。従来、費用対効果の壁によって遅れていた道路整備は、この機会に緊急救命道路、緊急支援物資搬送道路と位置づけて、政府に対して強力に要望をし、市内の基幹道路、橋及びトンネルの建設の目処をつける絶好の機会である。市の意気込みを伺いたい。

一、公営住宅の建設地将来像について  
二、原子力発電所立地30キロメートル圏内基幹道路の整備について

## 答弁

一、公営住宅の建設については、現在、長寿命化計画の策定作業を進めており、老朽化が進んだ団地の建て替えを検討しています。建設地にあたっては、現入居者の意向や校区の関係、特に高齢者の買い物や通院等の日常生活も考慮して決定する必要があります。現時点では新たな公営住宅の建設という計画には至っておりませんが、定住促進の施策としては大変有効で重要な手段ではありますので、住宅の需要と供給の状況や民間住宅の建設状況等を勘案しながら、ご提言の趣旨も踏まえて建設していく必要があると考えます。

二、東日本大震災を受けて、国土交通省は道路事業の事業評価の中に、広域的防災に資する道路ネットワークという防災機能を基準に取り入れる方向性であると聞いております。

万一、原子力災害等が発生した場合、迅速かつ安全に避難して頂くことが重要です。道路の整備は喫緊の課題ですので、今後の要望活動の大きな項目として国、県に働きかけをし、道路整備が速やかに進められるよう努力してまいりたい。

## 一般質問

武 辺  
議 員

## 質問

一、(1)建物の老朽化により児童館は閉鎖されていますが、現在、児童館の役割は、どこでどのように担っていますか。

(2)旧児童館の解体予定はありますか。

(3)旧児童館閉鎖後に、図書館への入館者や児童館の利用者が減少している結果から見ると、図書館と旧児童館の利用には相乗効果があったと思います。また、今の児童館の機能は十分に発揮されていないと判断します。今回、母親クラブから出された児童館に対する要望と回答の内容をお知らせください。

(4)旧母子生活支援施設の立退き料6千万円を児童館建設に使うべきと思いますが、児童館を建て替える考えはありますか。

二、(1)完成時期はいつ頃ですか。

(2)どんな状態を完成というのですか。

(3)平成22年第1回定例会で「完成後できるだけ早く市が買い上げて有効活用したい。御厨星鹿の皆さんの知恵もお借りして、できるだけ早く協議の場を設けたい」と答弁されました。その時期にきていると思いますか、この考えは今も変わりませんか。

一、松浦児童館の現状と今後の方針について  
二、松浦港廃棄物処理施設整備事業（御厨湾埋め立て）について

## 答弁

一、(1)勤労青少年ホームの一部を学校開校日の午前中は未就園児等が、学校開校日の午後と土曜日及び夏休みの終日は小学生が主に利用しています。また、学校開校日の午前中は、新しく整備したこどもの家を児童館として活用しています。

(2)本年度中の解体を考えています。

(3)母親クラブからは、旧児童館場所への新児童館の建設財源として旧母子寮の用地費と補償費の使用をお願いしたいという要望でした。このことに対しては、新児童館の必要性は認識していますが、市全体の事業を見ながら総合的に検討し、財源については補償費に限らず検討したいという回答をいたしております。

(4)市全体の事業の進捗状況、公共施設の適正配置を考慮し、総合的にどうするか検討する時間を頂きたい。

二、(1)平成27年度に50万立方メートル全てが埋め立てられる予定です。

(2)埋め立てた段階が完成と考えます。

(3)活用をどうしていくかについては、今後、地元の皆様の意見が反映できる協議会をできるだけ早く立ち上げたいと思っています。